

社協だより

第63号

伊勢市社会福祉協議会 (☎208610、FAX208617)
 メールアドレス iseshakyo-honsyo@mie.email.ne.jp
 ホームページ http://www.mmjp.or.jp/iseshakyo/

社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会

本所	御園町長屋2767 ☎208610 FAX208617
伊勢支所	八日市場町13-1 ☎272425 FAX272412
二見支所	二見町茶屋456-2 ☎435551 FAX434427
小俣支所	小俣町元町536 ☎270509 FAX270570
御園支所	御園町長屋2767 ☎266617 FAX266604

ボランティア・市民活動は、子どもからお年寄りまで、年齢・性別に関係なく誰でもできる活動です。近年、ボランティア活動に対する関心や意識が今まで以上に高まりつつある中、活動内容も、福祉のみならず、まちづくり・国際交流・災害・環境・健康づくり・生涯学習など多種多様となっています。

なぜ、このようにボランティア活動が広がっているのか、ボランティアの原点とその魅力に迫ります。

とき 10月31日(金)、午後7時～8時30分

ところ ハートプラザみその・多目的ホール

対象 市内に在住または通勤・通学している人

講師 早瀬昇さん(大阪ボランティア協会常務理事)

ボランティア・市民活動講演会
 「なんでもできるのっボランティア」
 ～今こそ見つけるボランティアの原点と魅力に迫る～

ボランティア・市民活動は、子どもからお年寄りまで、年齢・性別に関係なく誰でもできる活動です。

【講師プロフィール】

1978年から市民活動の総合支援・推進団体である大阪ボランティア協会に勤務。1991年に事務局長就任後、同協会内に「企業市民活動推進センター」を創設し、企業人の市民活動への参加促進、企業とNPOの協働推進に努める。1995年の阪神・淡路大震災発生直後に、全国の市民活動団体や経団連1%クラブ、企業などと連携し、日本で最初となる一般市民公開型の災害ボランティアセンターを担う「被災地の人々を応援する市民の会」を結成。現在は「日本NPOセンター」の代表理事および大阪ボランティア協会常務理事など重役を務める。



講師 早瀬 昇さん

定員 250人(先着順)
 入場料 無料
 申し込み 電話またはファクスで伊勢市ボランティアセンター(☎6370、☎6371)へ

この講座では、「災害時のボランティア活動とは何か?」「災害ボランティアコーディネーターにとって何が大切か?」を学びます。

とき・内容 下表のとおり

ところ ハートプラザみその・2階保健会議室

対象 市内に在住または通勤・通学している人で、災害ボランティア活動に関心があり、全日程を受講できる人

講師 NPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク

定員 40人(先着順)

申し込み 11月7日(金)までに、電話またはファクスで伊勢市ボランティアセンター(☎6370、FAX6371)へ

伊勢市災害ボランティアコーディネーター養成講座

災害時には、各地から集まるボランティアと被災者とをつなぐ「災害ボランティアコーディネーター」が必要となります。

伊勢市災害ボランティアコーディネーター養成講座

とき	内容
第1回 11月15日(土)	10:30～12:30 <講演>災害ボランティア概論
	13:30～15:30 <講演>災害ボランティアの役割
第2回 11月30日(日)	10:30～12:30 <講演+ワークショップ>情報整理と広報
第3回 12月14日(日)	10:30～12:30 <講演>リーダーの役割と緊急時の意思決定
	13:30～15:30 <講演+ワークショップ>ボランティア本部の機能と役割



ふれあい・いきいきサロン 活動紹介

おしゃべりサロン 子育てサロン「レクびお」

毎月1回、ゲームや小
学唱歌、昔ながらの遊び
の宝引きなどをして、心
身ともに健康な生活を過
ごすことをモットーに活
動しています。



＜主な活動場所＞
新開公民館

今年7月から始まったサ
ロンで、皇學館大学レク
リエーション部の皆さんが
中心となって活動していま
す。学生さんたちの企画
に、笑い声が響いています。



＜主な活動場所＞
明野児童館

ボランティア 活動紹介

二見ひまわりの会

＜活動内容＞

地域の高齢者の支援と子育て中のお母さんの
支援、身体障がい者の支援などのお手伝いをし
ています。

＜活動のきっかけ＞

会員の皆さんそれぞれの思いがありますが、
高齢者や障がい者の方々などにささいなこと
でも手助けができればという気持ちから、いわゆ
る「ちょこっとボランティア」の感覚からスター
トしました。

＜活動していて良かったこと＞

何と云っても、私たちがお世話させていただ
いた利用者の皆さんが、心から喜び、楽しんでいる
様子を見た時に、自分たち
も幸せな気分になります。
そして、その意志を受け継
いで、会員さんが新しく入
会していただいた時です。



生活支援員養成講座

地域で生活している高齢
者や知的・精神障がい者な
どの皆さんが安心して生活
できるように、福祉サービ
スを利用するための手続き
や、日常的なお金の管理な
どの支援を行う「地域福祉
権利擁護事業」の生活支援
員になるための研修を開催
します。

とき 11月13日(木)、午前9
時30分～午後5時

ところ 福祉健康センタ
ー・1階日常生活訓練室

対象 伊勢市・玉城町・度
会町・大紀町在住で、地域
福祉権利擁護事業に協力す
る意思がある人

内容 医師・弁護士・司法
書士らによる7講座
定員 30人(先着順)

申し込み 10月1日(水)～15
日(水)に、申込書を、直接ま
たはファクスで社会福祉協
議会伊勢支所へ

問い合わせ先 伊勢地域権
利擁護センター(☎2086)

18)

※申込書は、社会福祉協議
会各支所にあります。

※講座を修了した人には修
了証を発行します。

自力整体講座

子育て中の親向けの講座
です。お子さんを預けて、
安心して講座を楽しんでい
ただけますので、皆さんの
ご参加をお待ちしています。

とき 11月11日(火)・18日(火)・
26日(水)、午前10時～11時

ところ 中央児童センター

対象 6カ月以上の乳幼児
の親(市内に在住または通
勤)で、全日程を受講でき
る人

内容 自分で行うマッサー
ジ整体「自力整体」を行い、
自分自身で気持ち良く体を
ほぐして骨格のずれを戻し
ます

講師 杉山華乃美さん(自
力整体ナビゲーター)

定員 15人(申し込み多数
の場合は抽選)

往復はがきの書き方

郵便往復はがき 52 〒516-0076 日本郵便 住所	何も記入しないで ください
伊勢市八日市場町 13-1 伊勢市中央児童 センター 宛	
(往信用表)	(返信用表)

郵便往復はがき 52 〒000-0000 日本郵便 住所	①親子の氏名 ②親子の年齢 ③住所 ④電話番号 ⑤託児の有無
住所 氏名 様	
(返信用表)	(往信用表)

持ち物 ヨガマットまたは
大きめのバスタオル、長め
のタオル
申し込み 10月23日(木)(当
日消印有効)までに、往復
はがきに必要事項(左図参
照)を記入し、中央児童セ
ンターへ
問い合わせ先 中央児童セ
ンター(☎202425)
※抽選結果は10月30日(木)以
降に送付します。
※申し込みは、1人1通ま
でとします。

【寄附をいただいた皆さま】
 (敬称略、順不同)
ありがとうございました
 (平成26年7月16日～8月15日)

太田一…1万円、長島重子…布地蔵30体、
 匿名…絵本2冊、匿名…車椅子

社会福祉協議会市負担金
 [平成26年度予算額] 1億13万4千円
 (運営・福祉ボランティア育成負担金)



とき 10月19日(日)、午前9時30分～正午
 ところ 御園こどもプラザ
 (御園町長屋2794-1)
 内容 竹細工、餅つき、マジック、伊勢方言かるた、缶バッジ作り、紙飛行機飛ばし、防災コーナー、食べ物コーナーなど
 問い合わせ先 社会福祉協議会御園支所

「作ろう遊ぼう楽しもう」
 御園町ボランティアまつり

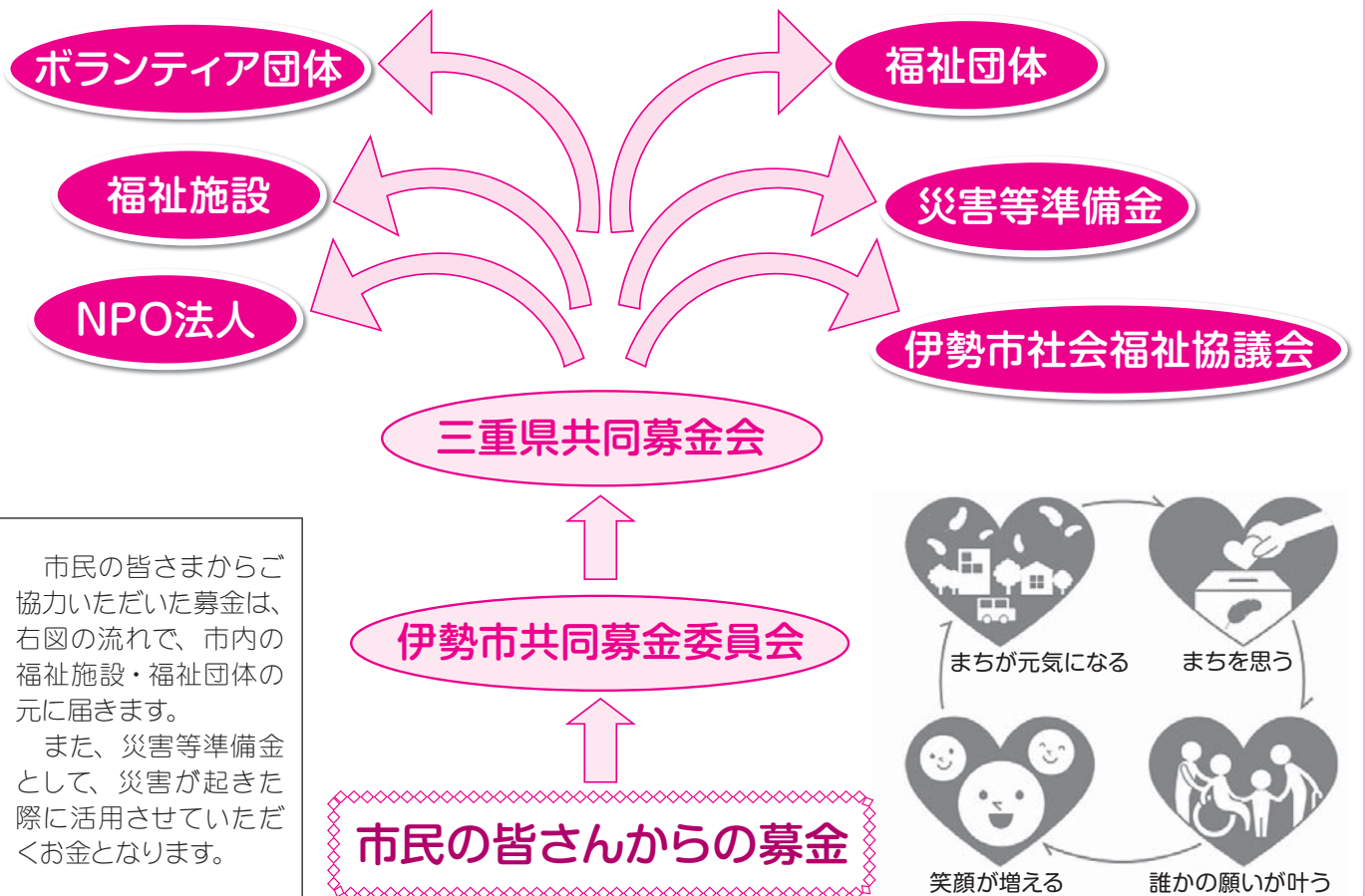


平成26年度 赤い羽根共同募金にご協力をお願いします！

今年も、厚生労働大臣の告示により、10月1日から「赤い羽根共同募金運動」が全国一斉に始まります。この運動は、地域に住む一人一人が協力し合い、お互いを支え合い、住みやすいまちをつくるための「たすけあい運動」です。

伊勢市でも、自治会や民生委員・児童委員、ボランティア、企業などの協力を得て運動を行います。毎年、市民の皆さんの温かいご協力をいただき、市の地域福祉の推進に大きな役割を果たしています。今年も、「じぶんの町を良くするしくみ」の赤い羽根共同募金にご協力をお願いします。

伊勢市の募金目標額は20,206,000円です



市民の皆さまからご協力いただいた募金は、右図の流れで、市内の福祉施設・福祉団体の元に届きます。
 また、災害等準備金として、災害が起きた際に活用させていただくお金となります。